

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

扶桑町地域公共交通会議 (扶桑町)

令和3年7月9日設置

令和6年4月 1日 扶桑町地域公共交通計画策定

令和6年6月24日 一部改訂

(計画期間：令和6年4月～令和11年3月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業

・地域内フィーダー補助系統確保維持国庫補助金

【扶桑町の概要】（R6.9末現在）

- ・人口：35,050人
- ・世帯数：15,176世帯
- ・高齢化率：25.9%（65歳以上 9,064人）
- ・面積：11.19平方キロメートル
- ・鉄道：名古屋鉄道犬山線 扶桑駅・柏森駅・木津用水駅が所在
- ・バス：大口町コミュニティバス（柏森駅）、犬山市わん丸君バスが乗入
- ・フィーダー：デマンド交通「チョイソコふそう」

【計画策定の背景】

総合計画や都市計画マスタープランにおいて、今後の人口減少や高齢化を見据えたコンパクトなまちづくりを目指しており、駅周辺の整備や快適に町内を移動できる交通環境の整備が必要とされています。

まちづくりの計画に位置付けられた「快適に町内を移動できる交通環境」を実現するため、新たな地域公共交通の導入を機に計画を策定した。

計画の基本方針

『みんなが快適に移動できるまち 扶桑』

基本方針①

まちづくりを支える公共交通ネットワークの確保・維持

基本方針②

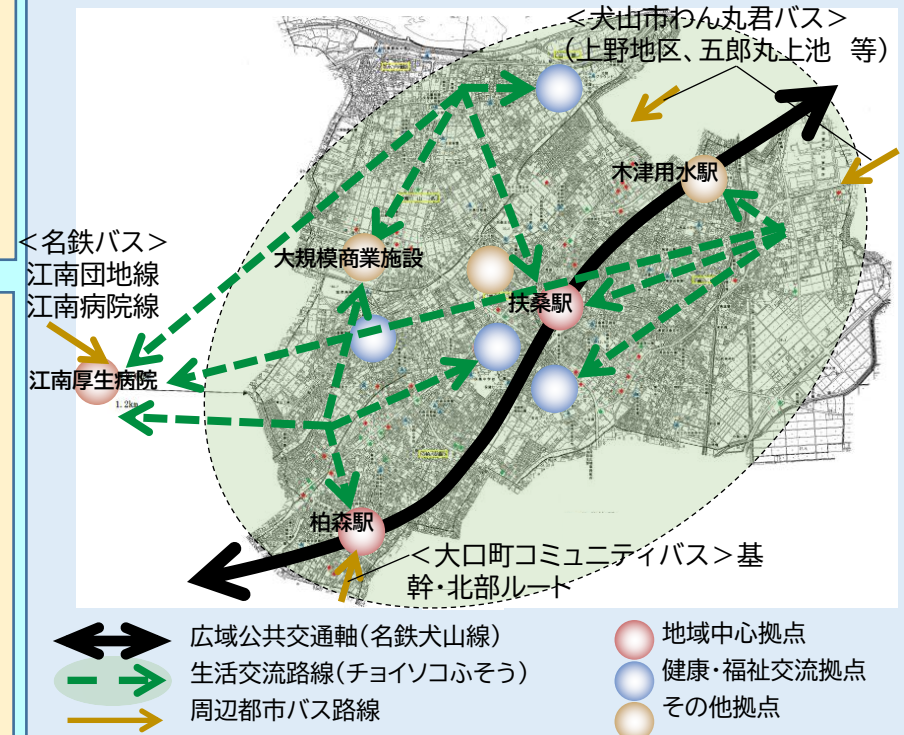
町民のニーズに対応した公共交通サービスの提供

基本方針③

あらゆる分野の関係者の連携・協働

扶桑町における公共交通ネットワーク

- 扶桑町の公共交通は、名鉄犬山線（3駅）と一般タクシー（犬山交通、名鉄タクシー）および「チョイソコふそう（デマンド交通）」があり、近隣行政（犬山市・大口町）の巡回バスも一部町内に乗り入れている。
- 名鉄犬山線を東西方向の広域公共交通軸とし、チョイソコふそうは南北方向の移動を補完しつつ、町内拠点等をきめ細やかにサービスする自由度の高い移動手段としての機能を有しています。
- 町内には総合病院がなく、利用町民が多いため江南厚生病院が医療の地域中心拠点となっている。



取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
チョイソコふそうの運行（実証）	・チョイソコふそうの運行の継続・本格運行へ移行	・前年に比べて利用者が1割強増（12,369⇒14,100人）	・実証運行2年目となり広報や、公共施設及びエリアスポンサーでのポスター掲示により認知度が上がり会員登録者数も増え利用の増加につながった。
企業と連携した利用特典やイベントの実施	・健康増進につながる外出促進のため、チョイソコふそうエリアスポンサー企業やその他企業と連携してチョイソコイベントを実施する。	・イベント実施 13回 （チョイソコスポンサー関係イベント 4回） ・イベント参加人数 合計217 人	・イベントで新たにチョイソコを含んだ公共交通の利用が発生しており、外出促進に繋がっている。 ・町内のイベントだけでなく、鉄道や他市町の路線バスを利用することで、広域交通の利用促進にもつながっている。
チョイソコふそう住宅地停留所ベンチ設置事業	・各地区に設置している住宅地停留所のベンチ設置に関するアンケート調査（ベンチが設置可能と考えられる38地区対象）	・28停留所 要 24停留所 不要 （52停留所中）	・各地区公民館や資源ゴミ回収拠点に停留所を設置しているが、管理面の問題から、不要の判断をする地区が想定より多くなった。今後、必要か所28停留所にR7.2より順次設置予定。

3. 計画の目標の達成状況とその理由についての考察【Check】

評価期間：R5.10～R6.9

計画目標・評価指標・目標値		達成状況（○：達成 未達成：△）						考察
		1年目 （本年）	達成・ 未達成	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	
まちづくりを支える公共交通ネットワークの確保・維持	公共交通利用者数 20,200人/日	19,463人	△					鉄道利用者及びチョイソコ利用者も増加したものの（前年度比+5.7%）目標は未達成となった。
町民のニーズに対応した公共交通サービスの提供	公共交通の不満度 現況値以下 （10.5%）	—	—					令和9年度にニーズ調査を実施し最終年度に評価予定。
あらゆる分野の関係者の連携・協働	関係者が連携・協働した取組件数 5件/年	14件	○					チョイソコイベントを毎月実施したことと、タクシーチケットの利用方法の模索を担当課と実施し、目標を達成した。

確認指標

各交通モード1日あたり利用者数

		R4（基準値）	R5.10～R6.9
*1 名鉄犬山線	柏森駅	10,069人	10,676人
	扶桑駅	6,285人	6,543人
	木津用水駅	2,013人	2,186人
チョイソコふそう		51人 (R4.10～R5.9)	58人

チョイソコふそう利用者一人あたりの町負担額

R4（基準値）	R5.10～R6.9
1,646円／人	1,547円／人

チョイソコふそうイベント開催回数

R4（基準値）	R5.10～R6.9
7回	13回

タクシーチケット利用回数 *2

		R4（基準値）	R5
障がい者	交付人数	609人	543人
	利用回数	3,874回	3,703回
高齢者・要介護者、 要支援認定者	交付人数	2,525人	2,974人
	利用回数	21,125回	18,961回

注）*1、*2については4月～12月における集計

■課題 1

各交通モード（名古屋鉄道3駅、チョイソコふそう）の利用者は前年度比で増加はしているものの、目標利用者に達していない。

【対策】

- ・チョイソコの利用率の低い午後の時間帯の利用促進をするため、イベント創出や新規スポンサー獲得をする。
- ・チョイソコの住宅地停留所にベンチを設置し、停留所環境を整備する。
- ・町内イベントだけではなく、名古屋鉄道や他の公共交通機関を利用したイベントを継続的に実施していくことで名古屋鉄道の利用促進につなげる。

■課題 2

確認指標にあるチョイソコふそう利用者一人当たりの町負担額について、前年度比では下がっているものの、燃料費や人件費の上昇や会員数上昇に伴う管理費の増加等により、今後負担額増加が見込まれる。

【対策】

- ・チョイソコふそう運行事業に賛同いただける新規スポンサーを獲得する。
- ・効率的な運行方法を模索していく。

■共通の課題

- ・免許返納者の増加
返納者への公共交通利用啓発を関係部署と検討していく。
- ・ニーズに即した交通モードの選択
扶桑町で接続する公共交通を把握することや、窓口で隣接行政の公共交通パンフレットを設置することで、公共交通利用者を誘導する。（継続）
- ・高齢者だけでなく、幅広い世代への公共交通利用促進。
子供や子育て世代等への利用啓発ができるよう、関係部署と検討する。